

# コロナ禍の今こそ公務職場の役割発揮！ 人勧見据え、職場の課題を要求へ！

## 人事院の民間給与調査は9/30までの予定、勧告は10月以降か

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、公務職場の必要性と重要性が明らかとなりました。感染防止対策や各種給付金支給業務など、住民のいのちとくらしを守るために、精神的・肉体的に負担の大きい状況の中、奮闘が続いています。コロナ禍において公務公共サービスを引き続き維持するためにも、安全安心の労働環境の構築、業務量に見合った人員確保、またその働きを正に評価する賃金改善や手当支給を求めていく必要があります。

※2020人勧・2021予算にむけ、9・3署名提出行動人事院へ120,277筆 政府へ114,240筆

新型コロナウイルスの感染拡大により人事院の民間給与実態調査が大幅に遅れ、人事院勧告のスケジュールが明確になっていません。全労連公務部会・公務労組連絡会は、9月3日、人事院・官邸前要求行動を実施し、150人が参加。この間とりくんできた人事院宛署名120,277筆、政府・内閣人事局宛署名114,240筆を提出しました。公務労組連絡会の代表は「12万人を超える署名に込められた思いをしっかりと受け止めてほしい。コロナ禍や自然災害に対応するなかで、賃金・待遇の改善、公務労働者を励ます勧告となるよう代償機関としての務めを果たしてほしい」と訴えました。

※2020人勧～秋季の《共通重点要求》

- ① 初任給と若年者賃金の大幅改善で雇用維持と人材確保につながる所得水準確保を求めます。
- ② 感染防止対策の徹底と衛生用品の確保で、安心して働くことができる職場環境を求めます。
- ③ 適正な労働時間把握で、長時間労働の是正につなげ職員の負担軽減と健康維持を求めます。
- ④ 安定した職の設定と、職務内容に見合う労働条件となる会計年度任用職員制度を求めます。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染から、住民のいのちとくらしを守るための制度の拡充を求めます。



《県人事委員会へのとりくみ》 県人事委員会あて「人事委員会勧告にあたっての要請」署名(団体・個人)→最終集約9月末



8月22日、自治労連共済愛媛支部の「実務研修会」に、13単組29人が参加。はじめに、自治労連共済本部の打越さん(四国担当)がリモートで講師となり「自治労連共済のとりくみと意義」「組織共済について」「組織整備と区分会計」など、共済の基本や共済会計の基本レクチャーと加入手

8月22日、自治労連共済愛媛支部の「実務研修会」に、13単組29人が参加。はじめに、自治労連共済本部の打越さん(四国担当)がリモートで講師となり「自治労連共済のとりくみと意義」「組織共済について」「組織整備と区分会計」など、共済の基本や共済会計の基本レクチャーと加入手

【県本部】  
人事院勧告、秋季年末要求に向け  
賃金実態調査実施し、学習会を開催  
県本部は8月22日、第1回拡大執行委員会を開催し15単組20人が参加。森賀県本部副委員長を講師となり「賃金学習・前編」を実施。学習では①「会計年度任用職員の賃金労働条件」②「正規職任用職員の賃金等労働条件」の賃金実態調査の必要性について伝え、会計年度任用職員の労働条件の改善、組合員が自分たちの賃金の理解と要求のポイントを知ること目的に、各単組に「会計年度任用職員の賃金等労働条件一覧表」と「正規職員賃金実態」の資料づくりに要請しました。次回執行委員会で「賃金学習・後編」を行い、これらの資料から賃金改善に向けた課題と運動の具体化を学びます。

【自治体一般】  
西条市で働く会計年度職員を  
対象に「組合説明会」を開催！  
8月17・18・21日、県自治体一般労組と西条市職労は、会計年度任用職員の組織拡大と要求前進を目的に、西条市で働く会計年度任用職員を対象とした「組合説明会」を開催し、3日間でのべ41人が参加。説明会は、保育士職場(パート)・フルタイム)、一般事務、介護職場など職種・勤務形態に分けて開催。はじめに、県本部の森賀副委員長より西条市での「会計年度任用職員」労働条件や給料表の見方など、パワーポイントで説明後、現在の制度の問題点を伝えました。その後、県自治体一般の石井委員長より、組合の説明を行い自治体一般西条支部への加入を呼びかけ意見交換。参加者から、会計年度任用職員制度や職場状況に対して「会計年度任用職員制度に切り替わるとき

発行所  
自治労連愛媛県本部  
愛媛県西条市1丁目10-3  
電話(089)951-7314  
FAX(089)953-1649  
E-mail:page@allf.or.jp  
発行人 高尾 謙  
編集人 丸尾 博

(この誌の発行に協力している自治体は次の通りです)

日 程

【9月】

- 19 県本部拡大執行委員会
- 県本部現業評議会幹事会
- 東予総支部定期総会
- 中予総支部定期総会
- 自治労連医療部会定期大会 (web)
- 24 伊予市職労執行委員会
- 26 県本部女性部幹事会
- 全労連青年部定期大会 (web)
- 30 津島吉田病労組執行委
- 全労連公務部会・公務労組連定期総会 (web併用)

【10月】

- 3 自治労連定期大会 (web)
- 6 ココロユニオン執行委
- 伊方原発運転禁止訴訟
- 10 はたらく女性の中央集会在 WEB
- コロナなんでも電話相談会
- 11 県本部保育部会幹事会
- 16 県市長会長要請 (新居浜)
- 17 県本部拡大執行委員会
- 医療介護評定期総会
- 23 南予総支部代表者会議



9月5日、愛媛労連第32回定期大会に72人が参加(自治労連24人)。今回はwebを併用して開催。今井議長は「新型コロナウイルス禍で非正規労働者を中心に雇い止めが起き、休業補償や賃金カットなどの相談が寄せられており、労働組合の役割が非常に大事になっている」と強調。運動方針として「組織強化拡大、◎生活できる賃金の実現 ◎職場からダイ

【共済研修会】  
レクチャー「自治労連共済の基本」  
組織共済・新キャンペーンを議論  
続き時の書類の書き方の注意など、実際の書類を使って実践形式での研修を行いました。後半は、自治労連共済の高尾理事から「本部組織共済制度の改定討議(案)」の説明と県本部共済担当の石井さんから「県本部共済キャンペーン(案)」の説明を行い、参加単組から意見を出してもらいました。参加者から「組織共済は、組合員への給付を第一に考えた改定をしてほしい」「組織共済の意見集約から決定までのスケジュールが短かすぎて、組合員への説明と意見集約が困難」「県本部の新キャンペーン」がありとう抽選



【自治体一般】  
西条市で働く会計年度職員を  
対象に「組合説明会」を開催！  
8月17・18・21日、県自治体一般労組と西条市職労は、会計年度任用職員の組織拡大と要求前進を目的に、西条市で働く会計年度任用職員を対象とした「組合説明会」を開催し、3日間でのべ41人が参加。説明会は、保育士職場(パート)・フルタイム)、一般事務、介護職場など職種・勤務形態に分けて開催。はじめに、県本部の森賀副委員長より西条市での「会計年度任用職員」労働条件や給料表の見方など、パワーポイントで説明後、現在の制度の問題点を伝えました。その後、県自治体一般の石井委員長より、組合の説明を行い自治体一般西条支部への加入を呼びかけ意見交換。参加者から、会計年度任用職員制度や職場状況に対して「会計年度任用職員制度に切り替わるとき

【自治体一般】  
西条市で働く会計年度職員を  
対象に「組合説明会」を開催！  
8月17・18・21日、県自治体一般労組と西条市職労は、会計年度任用職員の組織拡大と要求前進を目的に、西条市で働く会計年度任用職員を対象とした「組合説明会」を開催し、3日間でのべ41人が参加。説明会は、保育士職場(パート)・フルタイム)、一般事務、介護職場など職種・勤務形態に分けて開催。はじめに、県本部の森賀副委員長より西条市での「会計年度任用職員」労働条件や給料表の見方など、パワーポイントで説明後、現在の制度の問題点を伝えました。その後、県自治体一般の石井委員長より、組合の説明を行い自治体一般西条支部への加入を呼びかけ意見交換。参加者から、会計年度任用職員制度や職場状況に対して「会計年度任用職員制度に切り替わるとき

センターワークの確立、◎憲法9条改憲阻止・核兵器廃絶など平和を求めるとりくみ、◎消費税減税・社会保障の拡充を求めるとりくみ、◎持続可能な地域経済・社会の実現などを提案し討論へ。今治市職の西原代議員、愛媛労連女性部の越智代議員(松山市職労)、愛媛労連青年部・山内代議員(西条市職労)が発言。運動方針と予算、新役員が確認されました。

### 【子】新旧役員交代会と

### 新採職員の親睦会を実施



内子町職は8月28日「フレッシュパークから」にて、新旧役員交代会を実施し、18人(うち新採6人)が参加。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止として、新採職員歓迎会を見送ったことから、新規採用職員との親睦も兼ねて実施しました。初めに新採職員を対象に、自治労連共済と労金の説明を行いました。自治労連共済の説明は、県本部共済担当の石井さんが「全国の組合員同士の助け合いで運営されている自治労連共済の大切さ」や自治労連共済の保障と格差年金などについて説明。その後3密にならないよう屋外でのビアガーデンスタイルで懇親会を実施し、組合員同士親睦を深めました。

### 【条】新執行部全員が決意表明

### 西年代別「職場懇談会」を開催



西条市職労は8月12日、新体制になって初めての執行委員会を開催し27人が参加。各委員の役割分担を確認し、全ての執行委員から職場報告及び決意表明が出されました。新規、再任、復帰、それぞれ立場は違えど「新型コロナウイルスで先が見通せないなかでも、職場の声を基

### 【予】「職場懇談会」開催決定

### 伊予組合員の声を要求交渉へ



伊予市職労は8月20日、執行委員会を開催し19人が参加。はじめに久保委員長から「これから職場懇談会に入る。要求書の提出、団体交渉につなげる組合員の生の声を集める機会として重視したい」などあいさつ。続いて職場懇談会の日程と準備について提案があり、向井

### 【医療介護評】新型コロナ感染拡大防止など

### 医療介護職場の課題を共有

県本部医療介護評は8月29日、幹事会を6単組9人の参加で開催。山内会長から「医療従事者への感染予防の観点から幹事会が延期され約半年ぶりの開催となった。職場の課題など共有を」とあいさつ。山本幹事からは「本部医療部会でも全国

### 【大】夏季要求で団体交渉。新型コロナ、大会計年度制度改善などを要望



大洲市職労は8月24日「団体交渉」を実施。組合から5人、当局から総務課長と補佐が参加。夏季要求では、主に①新型コロナウイルス感染防止対策、②会計年度任用職員制度、③業務に必要な資格取得費用の負担、④非正規職員の正規化などを要求。組合は「会計年度任用職員制度はスタートしたばかりだが職場からはいろんな声が出ています。引き続き改善が必要部分は協議交渉を」と「会計年度の退職手当はこれまでの勤務実績を考慮し支給を」、「会計年度職員が一番の不安は次年度も任用されるかどうか。安心して働き続けられる制度へ協議を進めたい」など、要望しました。

### 【津島吉田】組合でマスクを購入し配布。夏季休暇取得に人員不足課題



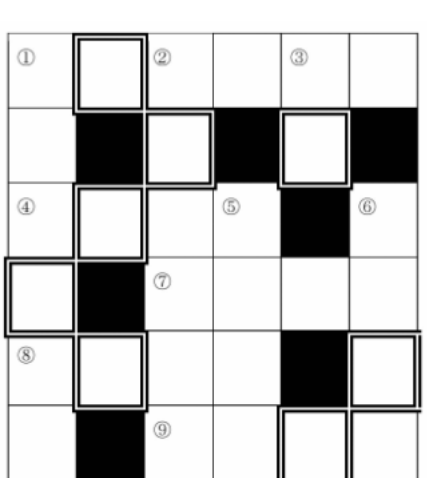
津島吉田病院院労組は8月25日、執行委員会を開催し12人が参加。石村書記長より「前回の執行委員会で確認した組合でのマスク購入はいま配布している」と報告。各施設から職場状況を報告。【津島病院】組合からのマスク配布はみんな喜んでくれた。職場は人員不足が深刻で、夏季休暇の取得はほとんどの職員が



の自治体病院での感染症対応の課題が出され、看護協会との懇談も実施」と発言。職場からは会計年度職員への移行、感染症の拡大で来院を控える傾向が続く、スタッフ不足で夏季休暇も取得できない、施設で利用者制限もある、医療従事者への慰労金が支給、などの報告がありました。定期総会を10月に松山市内で開催すると確認しました。

マス目を埋め、二重枠の8文字で、演歌歌手にして下さい。

- 【ヨコのカギ】
- ①一つひとつの条項に分けて書き並べること
  - ④イカ・するめをあぶり焼にして細く裂いた
  - ⑦苦しみもがきころげまわる。激痛に〇〇〇〇まわる
  - ⑧水に溶けていること。〇〇〇〇液
  - ⑨1日一つの善行を。一日〇〇〇〇
- 【タテのカギ】
- ①京都・竜安寺の石庭が有名
  - ②♪アウト、セーフ、〇〇〇〇〇〇
  - ③〇〇田、〇〇欠、ラスベ〇〇
  - ⑤金属製品を型を用いてプレスする成型作業
  - ⑥街ぐるみで行われる合コンのこと



出題者 堀川孝行

■522号のバズルの答えは「ラジオタイソウ」(ラジオ体操)でした。正解は15通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

前田 唯(新居浜)  
河野 佑亮(宇和島)  
越智 優喜(今治)  
村上 良子(今治)  
山田 梨央(新居浜)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】10月27日【発表】526号(11月号)

### おたより ありがとう

0~1日取得が実態。日勤の人数は維持して外来からヘルプに入ってもらうことで、少しずつ取得できている。【吉田病院】「2交代勤務の実施に関するアンケート」が回ってきたが、ほとんどの職員が「2交代はできない」と回答。【オレンジ荘】人員が足りていない。看護師は夏季休暇が取得できていない。今はマスクが汚れたら変えて良いことになった。定期大会の11月書面開催を検討などについても確認しました。

■急に気温が高くなり暑さに負けて室内で過ごすことが多いですが、ラジオ体操している子どもたちを見習って外に出なければと思う毎日です。(新居浜・前田)

■夏祭りも花火もなく夏らしいイベントを今年は楽しめませんでした。たくさん遊べる時期になったらその分季節を満喫すると心に決めています。

■子どもが小学生になり初めての夏休み。自分が小学生の頃は毎日のようにラジオ体操があり参加していたのですが、最近ラジオ体操を毎日したりはしてないのだなと知りました。今年はコロナの影響もあり、尚更減ってしまっただけです。時代の変化と共に「当たり前」も変わっていくのだなと感じました。(新居浜・筒井)